

# 最新分析技術と 疾患バイオマーカー研究

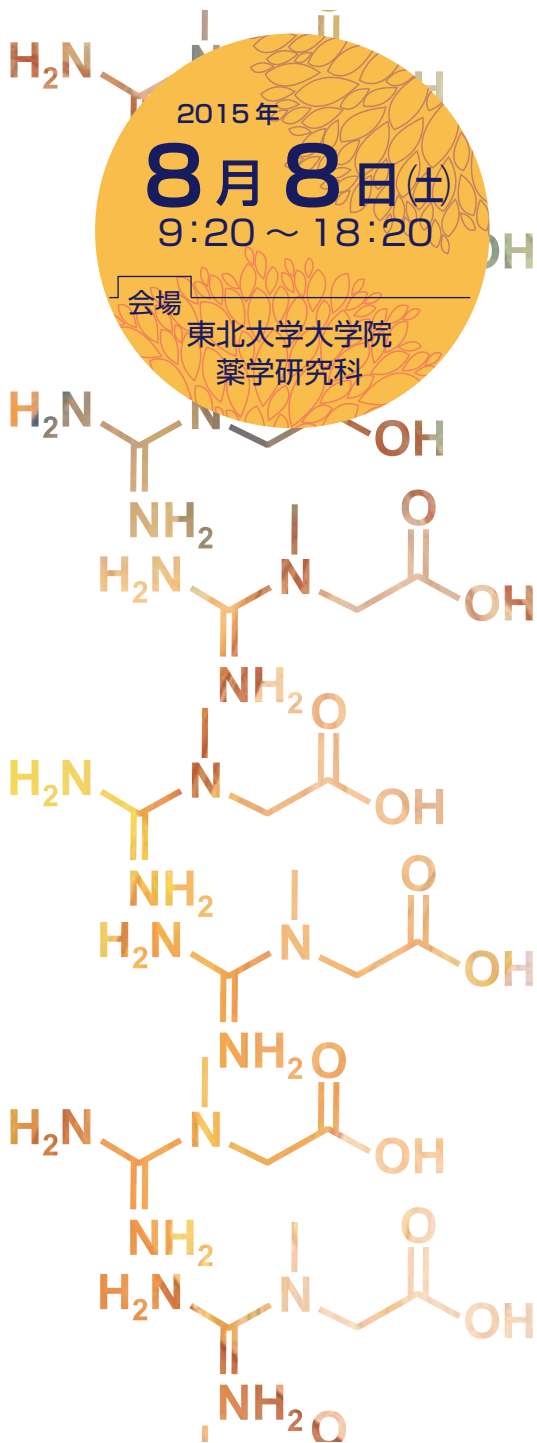
## 難治性神経疾患の基礎と臨床への橋渡しを目指して

2015年

8月8日(土)  
9:20 ~ 18:20

会場

東北大学大学院  
薬学研究科



9:20 ~ 9:25 / 大和田 滋 (グアニジノ化合物研究会会長)  
開会の挨拶

◎セッション1 最新分析技術と疾患バイオマーカー

9:25 ~ 9:50 / 三枝 大輔 (東北大学)  
臨床メタボローム解析による疾患予防マーカー探索

9:50 ~ 10:15 / 佐藤 恵美子 (東北大学)  
腹膜透析治療中腎不全患者におけるグアニジノ化合物の意義

10:15 ~ 10:50 / 横路 三有紀 (武庫川女子大学)  
赤血球における非対称性ジメチルアルギニン (ADMA) の臨床的意義

<休憩>

11:00 ~ 11:35 / 阿部 高明 (東北大学)  
TBA

11:35 ~ 12:10 / 松沢 厚 (東北大学)  
酸化ストレスの感知一応答の仕組みと多様なシグナル制御

<昼食・運営会議>

13:30 ~ 13:35 / 総 会

◎セッション2 難治性神経疾患の基礎と臨床への橋渡しを目指して

13:35 ~ 14:00 / 本間 俊行 (立命館大学)  
3週間の前腕ギプス固定時の筋機能低下抑制を目的とした持続的および筋力トレーニングの量の検討

14:00 ~ 14:35 / 秋山 倫之 (岡山大学)  
グアニジノ酢酸メチルトランスフェラーゼ欠損症の自験例および小児難治てんかんの治療における最近の話題

14:35 ~ 15:10 / 小坂 仁 (自治医科大学)  
小児遺伝性難病から成人疾患への視点: MTHFR 欠損症と AADC 欠損症の経験から

<休憩>

15:20 ~ 15:55 / 露崎 悠 (神奈川県立こども医療センター)  
治療可能な小児神経疾患: 神経伝達物質病、ライソゾーム病、葉酸代謝異常症

15:55 ~ 16:30 / 大和田 滋 (あざおクリニック)  
脳 MRS (magnetic resonance spectroscopy) を用いた腎不全患者の認知機能評価

16:30 ~ 17:05 / 塩田 倫史 (東北大学)  
ATR-X 症候群における分子病態の解明と治療薬開発

<休憩>

17:15 ~ 17:40 / 黒澤 裕子 (立命館大学)  
高齢者の認知機能に及ぼすクレアチン経口投与効果

17:40 ~ 18:05 / 伊藤 慎悟 (熊本大学)  
脳クレアチン欠乏症候群に関連する新規変異クレアチントランスポーター特性の解明

18:05 ~ 18:15 / 立川 正憲 (東北大学)  
総 括

18:15 ~ 18:20 / 大和田 滋 (グアニジノ化合物研究会会長)  
閉会の挨拶

<休憩>

18:30 ~ 20:30 / 総合討論

主催 グアニジノ化合物研究会  
共催 厚生労働科学研究費補助金  
(難治性疾患等政策研究事業)  
「脳クレアチン欠乏症候群の臨床研究」  
(研究代表 和田敬仁)

[参加のお申込み・お問い合わせ]  
第36回グアニジノ化合物研究会  
東北シンポジウム事務局  
東北大学大学院薬学研究科薬物送達学分野  
立川正憲  
tachik-dds@umin.ac.jp Tel. 022-795-6832